

1. 目的

持続可能で利便性の高い公共交通網の整備を形成するため、中心部と各地域拠点を結ぶ**基幹公共交通軸の特性に応じた機能強化**及び**各軸上の乗換拠点における各交通手段間の連携**にハードとソフトの両面から取り組むことで、円滑に移動できる公共交通ネットワークを構築するもの。

2. 現状・課題

■公共交通軸上の乗換拠点において、利用者が来た電車にすぐ乗れない等、交通機能が飽和状態の箇所がある。

■そのような中、空港アクセス鉄道の整備やTSMCの熊本進出など熊本市圏の経済状況の変化に伴う人流の変化が見込まれる。

■熊本市の主要渋滞箇所は政令市でワースト1位であり、これ以上交通渋滞を悪化させないよう、今後公共交通が果たすべき役割はより一層重要となるため、利便性の向上等に取り組んでいく必要がある。



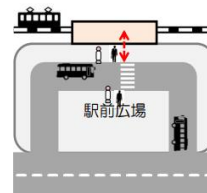
乗換拠点の利便性向上により公共交通の利用促進を図る

3. 今年度以降の取組

- 重要な交通結節点である上熊本駅、新水前寺駅、健軍電停の現況や乗り換え実態の把握
- 上記箇所における交通課題の整理及び短期対策の検討



対面乗り換え

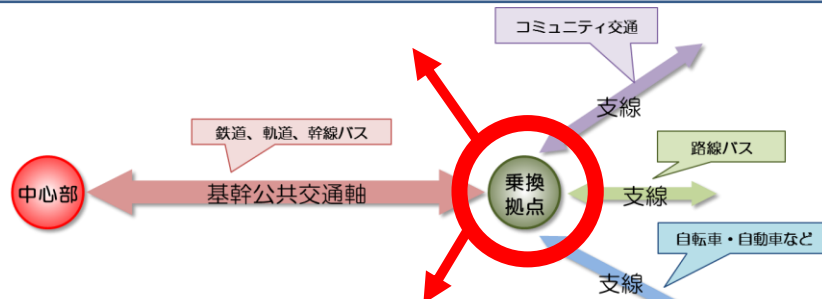


駅前広場乗り入れ



待合環境の向上

乗換拠点の利便性向上のための環境整備



Oライド&サイクル (チャリチャリ)



Oバス停の集約等



Oデマンドタクシーの接続

多様なモードの交通接続を強化



※赤:既存エリア、青:9月に拡大検討エリア

Oシェアサイクルエリア拡大

▲交通結節点機能強化イメージ